

自分や家族が認知症になっても 慌てず、希望を失わない方法とは？

白雉映像祭

映像と対話で描く、 新しい「認知症」の姿

認知症に関するドキュメンタリーを作り続け、日本の認知症対策を変える大きなきっかけを作ったNHKディレクター川村雄次氏と、「脳科学者の母が認知症になる」で、記憶を失っていく母親との日常生活を2年半にわたり記録し大きな反響を得た脳科学者の恩蔵絢子氏を迎え、映像と対話の中で新しい「認知症」へのイメージや向き合い方を探ります。

2026年

2月23日 月・祝

入場無料
事前申込

13:00～17:00 (受付は12時から)

武蔵大学

※公共交通機関をご利用ください。

1号館1002教室 (シアター教室)



川村雄次監督作品 (2013年)

早期診断そして人生は続く 太田正博さんの10年

※NHK厚生文化事業団福祉ライブラリー

上映会

認知症当事者発信のパイオニアとして、日本の認知症政策に大きな影響を与えた太田博明氏の10年を追うドキュメンタリー。

長崎県職員として児童相談所に勤めていた53歳のとき、アルツハイマー型の認知症と診断された太田さん。告知後、当事者の想いを伝えようと全国各地で講演活動が始める。明るくユーモアを交えて語る太田さんの姿は注目を集めるが、一方で症状の進行に伴い、次第に日々の生活や周囲との関係に難しさを抱えるようになっていく。当事者・家族・支援者の日常への密着を通じ、どうすれば認知症と共生可能な社会を作れるかを問いかける。



NHKディレクター 川村雄次

主な番組：『16本目の“水俣” 記録映画監督 土本典昭』（1992年）など。認知症については『クリスティーンとポール 私は私になっていく』（2004年）制作を機に50本以上を制作。DVD『認知症ケア』全3巻（2013年、日本ジャーナリスト協会賞 映像部門大賞）

Program

- 13:00～13:05 開会あいさつ
- 13:05～14:50 上映会
- 15:00～16:00 講演会
- 16:10～17:00 パネルディスカッション

恩蔵絢子氏 (脳科学者)

脳科学から見た認知症

～認知症になっても失われないもの～

講演会



\\NHKスペシャル\\
「認知症の母と脳科学者の私」
が大反響!!

脳科学者 恩蔵絢子

1979年、神奈川県生まれ。現在、東京大学大学院総合文化研究科特任研究員。
著書に『脳科学者の母が、認知症になる』『認知症介護のリアル』（共著）など。

パネルディスカッション

自分や家族が認知症になっても 慌てず、希望を失わない方法

ファシリテーター：市川衛 (武蔵大学社会学部メディア社会学科)
パネリスト：川村雄次氏、恩蔵絢子氏

参加お申込み

右記QRコードより
お申込みください



[定員] 200名
(先着順・満員になり次第受付終了)

【個人情報の取扱いについて】
参加者の個人情報は大学の個人情報保護指針に従って厳重に管理し、本講演会の運営目的以外に使用することはありません

主催



武蔵大学

[担当] 市川衛 (武蔵大学社会学部メディア社会学科准教授)

お問い合わせ

